

旭市新庁舎建設市民会議 会議録

日時：平成 30 年 11 月 19 日

午後 1：30～2：55

場所：本庁舎 3 階委員会室

出席者

(委員)

林英光委員（会長・議長）、塙政美委員（副会長）、平野忠作委員、米本弥一郎委員、阿部真之委員、高山和視委員、高橋渉委員、加瀬浩委員、飯嶋直子委員、川上幸枝委員、遠藤依子委員、新行内正巳委員、向後充委員、林修三委員、小関友紀子委員 以上 15 名
欠席 1 名（戸井穰委員）

(事務局等)

市長：明智忠直、総務課長：飯島茂、総務課副課長：穴澤昭和

総務課新庁舎建設班：林大樹、高木正博

受注業者：(株) 横河建築設計事務所（新井敏裕、鈴木光洋）

：コクヨマーケティング（株）（森尾雅士、糸山嘉子）

【会議 開会】

(市長あいさつ)

秋から冬へと季節が変わるわけですが、今日はすっきりしない天候の中、お集まりいただきまして大変ありがとうございます。

今回は 15 回目の新庁舎建設市民会議ということで、皆様には大変ご協力をいただき、お礼と感謝を申し上げたいと思います。8 月に実施設計の中間報告をさせていただきましたが、本日はその最終案のご報告をさせていただきます。内容は、前回の報告から大きく変わる部分はありませんが、ご承知のとおり消費税が来年の 10 月 1 日より 10%に引き上げられることから、現行の 8%が適用される平成 31 年 3 月 31 日までの建設工事の契約締結に向けて準備を進めているところです。

また、概算ではありますが、今後想定される什器備品や附帯システムなどを含めた総事業費についても合わせてご報告をさせていただくと共に、本日は新庁舎のイメージということで、CG を使った映像もご用意しましたので、ご覧いただきたいと思います。いよいよ新庁舎建設の設計も大詰めを迎えましたが、これも委員の皆様の基本構想から実施設計まで長きにわたって熱いご協力をいただいたおかげでありまして、改めて感謝を申し上げます。

今後も什器関係や案内サインなどについて、引き続きご協力いただきながら新庁舎の竣工式まで、ご指導ご支援をいただきますことを心からお願いを申し上げまして挨拶とさせていただきます。

(林会長あいさつ)

気持ちは日本一ということでやってきました。オンリーワンの庁舎になると思います。これまで市民会議の中で話をしてきましたが、今後の市役所のあらゆる基本として、日本はどうしても縦割りですから、それを柔らかくすることは非常に重要だと思います。だんだん地方集権になってきていますが、中央だけがあるのではなく、周りがあって中央があるということが大事です。シティーホールのような市役所になって、開かれた自由な場所にしていきたい。

また、日本は一応に一通りのことはしますが、大事なことが欠けています。それは人の気持ちに関わることです。多くの市役所を見てきましたが、目が合っただけで職員が挨拶をしてくれる所もありました。市民に背中を向けるような配置にはしたくない。それから配線やバックヤードが見えるようにもしたくない。完璧にはいきませんが、そこを大事にすると、非常に良い形になっていくと思います。また、旭は素晴らしいものがありながら、平均的で見えないところがある。市が作成した旭市の偉人を紹介する「輝く人」は素晴らしいと思いました。例えば農協の始祖の大原幽学さん、剣道と和歌の達人の海上胤平さん、加瀬俊一さんなど素晴らしい人達でした。濤川惣助さんの飯岡駅の展示を見て非常に驚きました。それだけで成田空港から人が見に来る価値があると思います。この4人は旭市のオンリーワンを代表する方達です。ぜひ温かい旭にしていきたい、それを目標として今後ともよろしくお願いします。

議 長：議題(1)について事務局の説明を求める。

事務局：新庁舎建設「実施設計」【概要】の報告について説明。

- ・資料1 旭市新庁舎建設「実施設計」【概要】
- ・資料2 旭市新庁舎建設「概算（総）事業費」
- ・資料3 旭市新庁舎建設に伴う「財源の試算」
- ・新庁舎のイメージ映像（CG映像で説明）

議 長：議題(1)に関する質疑及び意見を求める。

議 長：ブレースが気にならなかったが、どのようになったのか。

事務局：柱自体を案内サイン等に利用し、目立たないように工夫をしました。

委員：2階に上がる階段に手摺はあるのか。また、2階の渡り通路のガラス壁の高さは。子育て支援課など子供が多く来ると思うので。

事務局：階段に手摺は付きます。また、2階の通路の壁高ですが、設計では高さ1.3mで考えております。ガラスにしている理由は、横格子だと乗り越えてしまい、縦格子だと物を落としてしまう危険があるため、ガラスで塞ぐことによって、物も落ちず見通しも良くなります。ガラスだと強度が弱いと思われそうですが、強度が出るように支柱を内側に立て、水平300kgに耐えられる強度を確保しています。

市長：1.3mで乗り越えてしまうことはないのか。

事務局：法律上は1.1mとなっています。覗き込むと危ないので、1.3mとすることで人の胸位の高さになるので、重心的に寄りかかっても落ちる心配はありません。

委員：解体工事費が1億7,800万円と計上されているが、解体業者の見積りでいくと1坪当たり3万～4万くらいだと思うが。

事務局：最近の解体の入札等では少し上がっているが、平方メートル当たり3万円程となっています。また、アスベストもあり、その対応を見込んだ積算になっています。

事務局：以前、市民会議等で津波による遡上について質問がありましたが、11月14日の新聞報道に、県が千年に一度の地震による津波の想定高を公表していました。飯岡の刑部岬あたりで最大16.9mの津波が発生し、市街地の方は6～8m程度でした。千葉県が以前に10mの津波が押し寄せた場合の浸水エリアを公表した時より、小さい浸水エリアでしたので、安全であると認識していただければと思います。

議長：外溝には植栽計画等も含まれているのか。

事務局：外構の中には植栽も含まれている。フェンスは、公園と出来るだけ一体になってほしいという思いから、隣地との境界以外は、周囲にフェンスを設置することは考えていません。

議長：最近の台風で塩害がありましたが、対策はあるのか。

事務局：建物は、ガラスやセメント系の外装材で包みます。サッシは、塩害に強いアルミ製です。機械設備は、外に露出すると塩害の影響を受けてしまうので、特に電気関係の受変電設備や非常用発電設備は、壊れてしまうと災害時に問題になってしまうので建物内に設置しています。

事務局：植樹の関係ですが、正面玄関に向かう歩道にはクスノキを想定しています。また、ロータリー内には市の木であるクロマツと、市の花であるツバキを移植する予定です。他には沖縄原産のシマトネリコを計画しています。先ほど塩害の話がありましたが、植物はどうしても影響を受けてしまうのかなと思います。

議長：シマトネリコは、塩害があっても以外と早く回復する。

委員：執務室等の反響や防音の問題と、換気や外気の匂いは考えているのか。

事務局：音の反響については、執務室はカーペット系の床で、天井も吸音するような素材を使用しますので、一般的な執務環境としては快適なレベルになると考えています。防音については、会議室など隣の部屋に音が漏れては良くない場所には遮音性のある間仕切り壁を使用し、隣に音が極力漏れないようにします。外気や匂いを入れないというのは難しい問題ですが、機械的に高性能のフィルターを通す方式であれば一番綺麗な空気が入ってくるのですが、高額な費用がかかってしまうので、基本的には一般の換気設備を設けて、フィルターを通して中に入れるという設備としています。メインの風除室に関しては、2部屋の風除室を設けておりますので、直接入ってくるよりは良いと思います。それが匂いだけでなく、寒さや暑さ対策になると考えます。

委員：執務室内の照明は、場所ごとに区分されたスイッチコントロールとなるのか。

事務局：執務室全体で10区分程の点灯区分としています。区分ごとにスイッチが付いており操作することができます。

委員：ロビーなども使用しない場所は、例えば1個おきに電気を点灯させることもできるのか。

事務局：人が来ないようなときには1個おきに点けられるようになります。現本庁舎でも通路部分は1個おきのスイッチになっています。

委員：現本庁舎と同じように、新庁舎でも整理番号での窓口対応になると思うが、待合椅子等から呼出し番号が、お年寄りの方たちにも見やすいように配慮してほしい。また、2階には子育て関連の部署があるのでキッズスペースがあるが、1階の市民ロビーには見当たらない。市民生活課の近くにも、待ち時間に子どもが遊べるようなスペースがあった方が良いと思う。

事務局：現在も市民生活課で整理番号を取って対応しています。市民生活課や税務課に関しては、なるべく待ち時間が少なくなるよう効率性を上げていけるようにしております。

市長：子どもを連れてきた場合、市民憩いの場は使えないのか。

事務局：市民憩いの場はオープンエリアになっていますので、子どもたちが遊べるような場を設けられればと思います。

議長：他の市町村ではボランティアの方が、駐車場から建物の中まで目を配って配置されている所もあるが、市としてボランティア等を配置する計画はあるのか。

事務局：旭中央病院は既にボランティア組織が立ち上がっており、玄関から内部まで案内する方々がいます。市でも出入口に車椅子を用意し、必要があれば職員がその対応をしています。規模的に専属のボランティアまでの施設ではないかと考えています。

議長：市の誇りとなる人達の作品等を飾る場所はあるのか。

事務局：歴史等を学ぶ場に、定期的に展示していければと考えております。

委員：一部の人が残業をする時にも全体をつけないと空調が効かないのではないかな。ランニングコストがかかると思うが。

事務局：当初、空調システムは中央熱源で全体の空調を賄う計画でしたが、最終的に、個別空調で複数の室内機と1台の室外機が対になっているシステムにしましたので、一部だけ空調を運転させることが可能です。

議長：人間は自分達で着る物を調整できる生き物です。

委 員：暖かい空気は上に溜まってしまうのでは。

事 務 局：吹き抜けの上に溜まった空気は循環させる仕組みを入れます。

議 長：他に意見はありませんか。
特になければ、この実施設計概要についてよろしいでしょうか。

委 員：特になし

議 長：ご異議ないようですので、このように進めていきます。
本日の会議を終了する。

【会議 閉会】